

独立役員届出書

1. 基本情報

会社名	株式会社電算システム			コード	3630
提出日	2016/3/4	異動（予定）日	2016/3/25		
独立役員届出書の提出理由	社外取締役に対し新たに独立役員として指定するため。				
☐ 独立役員の資格を充たす者を全て独立役員に指定している（※1）					

2. 独立役員・社外役員の独立性に関する事項

番号	氏名	社外取締役／ 社外監査役	独立役員	役員の属性（※２・３）												異動内容	本人の 同意
				a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l		
1	富坂 博	社外取締役	○												○	新任	有
2	野田 勇司	社外取締役	○												○	新任	有
3	盆子原 誠治	社外取締役													○	指定解除	
4																	
5																	

3. 独立役員の属性・選任理由の説明

番号	該当状況についての説明（※4）	選任の理由（※5）
1	該当事項なし	当社の監査等委員設置会社への移行に際し、富坂博氏は社外監査役から、監査等委員である社外取締役に新たに就任いたしました。さらに、同氏は弁護士でもあり、法律の専門家として豊富な経験と見識を有している他、社外監査役就任時より取締役会へ出席し、経営全般における監視と提言を行なっていました。このような同氏の当社における実績や経営陣から独立した弁護士としての見地による活動状況からみても、一般株主と利益相反が生ずる恐れが無いと認められます。以上のことから、富坂博氏を独立役員として選任しております。
2	該当事項なし	当社の監査等委員会設置会社への移行に際し、野田勇司氏は社外監査役から監査等委員である社外取締役に新たに就任いたしました。さらに、同氏は公認会計士でもあり、会計・財務・税務等の専門家として豊富な経験と見識を有している他、社外監査役の就任時より取締役会へ出席し、経営全般における監視と提言を行なっていました。このような同氏の当社における実績や経営陣から独立した公認会計士としての見地による活動状況から、一般株主と利益相反が生ずる恐れが無いと認められます。以上が野田勇司氏を独立役員として選任した理由及び経緯です。
3	該当事項なし	盆子原誠治氏は、IT業界での豊富な経験と幅広い見識を有されていることから、当社の経営を監督していただくとともに、経営全般に有益な助言を頂戴できるものと認識していることから、同氏を当社の監査等委員である社外取締役として選任しております。
4		
5		

4. 補足説明

※1 社外役員のうち、独立役員の資格を充たす者の全員について、独立役員として届け出ている場合には、チェックボックスをチェックしてください。

※2 役員の属性についてのチェック項目

- a. 上場会社又はその子会社の業務執行者
- b. 上場会社又はその子会社の非業務執行取締役又は会計参与（社外監査役の場合）
- c. 上場会社の親会社の業務執行者又は非業務執行取締役
- d. 上場会社の親会社の監査役（社外監査役の場合）
- e. 上場会社の兄弟会社の業務執行者
- f. 上場会社を主要な取引先とする者又はその業務執行者
- g. 上場会社の主要な取引先又はその業務執行者
- h. 上場会社から役員報酬以外に多額の金銭その他の財産を得ているコンサルタント、会計専門家、法律専門家
- i. 上場会社の主要株主（当該主要株主が法人である場合には、当該法人の業務執行者）
- j. 上場会社の取引先（f、g及びhのいずれにも該当しないもの）の業務執行者（本人のみ）
- k. 社外役員の相互就任の関係にある先の業務執行者（本人のみ）
- l. 上場会社が寄付を行っている先の業務執行者（本人のみ）

以上のa～lの各項目の表記は、取引所の規則に規定する項目の文言を省略して記載しているものであることにご留意ください。

※3 本人が各項目に「現在・最近」において該当している場合は「○」、「過去」に該当している場合は「△」を表示してください。近親者が各項目に「現在・最近」において該当している場合は「●」、「過去」に該当している場合は「▲」を表示してください。

※4 a～lのいずれかに該当している場合には、その旨（概要）を記載してください。

※5 独立役員の選任理由を記載してください。